

萩の史蹟名勝と産業大博覧會案内

附 防長勤王史料展覽會

萩市内史蹟名勝案内記

萩市は慶長九年輝元公入國以來二百六十有餘年間毛利氏累代の城下として防長二州統治の首腦地なりしが敬親公治を現在の山口市に移されて以來幾變遷を経て今日に至れり。

交通機關 山陽鐵道に依る場合... 厚狹驛にて美禰線に乘換へ萩に至る、▲小郡驛下車小郡秋間、自動車▲山陰線鐵道に依る場合▲下關驛より直通萩に至る、▲山口線鐵道に依る場合▲長門峽驛にて下車天下の奇勝長門峽を探索し湯ヶ原より萩市まで自動車又は湯ヶ原より高瀬まで自動車、高瀬より扁舟により阿武川下りを爲し史蹟の萩を訪れるも亦趣味深し。(未項行程時間参照)

萩城趾 指月山の麓に在り元吉見氏の別墅なりしが慶長九年輝元公之を修築せられ五重の天主閣、二十餘の櫓、内濠、外濠等當時要害第一の稱ありしが版籍奉還の魁を爲す爲維新後城廓の悉くを廢毀し僅に城塞の一部を残すのみ。

志都殿公園 城趾一帶の芝生に點綴する櫻樹は特に春花爛漫の候屈指の遊覽地にして東園は舊藩主の別邸跡なり。

志都殿山神社 舊城内に在りて縣社なり、明治十二年の創建に係り毛利元就以來の五公を祀る社殿は鬱蒼たる指月山を負ひ、壯麗池塘泉石の美と相俟つて萩地有數の勝地たり。

菊ヶ濱 指月公園の東より鶴江に續く白砂青松の一帶なり遙かに笠山及大小の島々を眺望して其の景頗る佳なり、海水浴場として眞に理想の地なり、背後に當る砂丘一帶は維新前に於ける外敵防禦の臺場跡なり。

天樹院跡 堀内天下馬に在りて萩地臨濟三院の一なり寛永年間輝元公の菩提所と名の爾後三度炎上今は墳墓のみ存し永に英魂を留めぬ。

明倫館趾 享保三年藩主吉元公之を堀内に創建せらる、後敬親公に至り嘉永二年此の地に改築する其の敷地一萬五千八百八十四坪に涉り規模宏壯を極めたるものなりしが維新後廢損し就中講堂は舊山口縣會議事堂の築材となり聖廟は曹洞宗海潮寺の本堂に遷され正門は萩病院の本門として遷し今は演武場の一棟と水練池及二基の石碑並に木主を存す現今の萩商業學校明倫小學校及萩區裁判所の敷地これなり。

本派本願寺別院 西田町に在り眞宗の大伽藍にして元和年中現在の山口市より此の地に移せしもの其の規模雄大輪奐宏麗萩市第一の巨刹なり。

弘法寺 土原の浮島に在り大同年中弘法大師の創建に當る傳ふ空海上人歸朝の際此の島に風浪を避けたりと、境内古松多くして風致佳良又河中より鐵泉湧出俗に弘法寺溫泉と稱して其名高し浮島辨財天舊振武隊の招魂碑、前原一誠佐世一清の墓碑亦此の境内に在り。

南園御殿 敬親公の成人されし所にして今尙其の幾部を存し其の當時を偲ばしむ現今の縣立萩高等女學校建物の一部なり。

大照院 櫻江に在り南園寺派臨濟の巨刹なり明暦二年秀就公の塋域と定め爾來毛利氏累代の菩提所なる門内頗る森嚴堂宇壯巨なり寺後の山上には末寺嶽の觀音あり國寶赤童子を藏す眺望頗る佳なり。

涙松 椿區の内大屋と千法師との間の地點を云ふ往時萩に往來する者萩と別れを惜みし所現今は松なく小碑を建てて昔を偲ぶのみ又吉田松陰先生の詠中の「歸らじと思ひ定めし旅なれば一しほゆるゝ涙松かな」は此の所に物せられしなり。

萩城趾 萩城趾に二種あり一は高麗燒と稱し窯元は朝鮮人李敬を祖とし代々萩市松本に住し阪高麗左衛門と稱して十世に及ぶ一は古萩と稱し大和國三輪の里源左衛門休雪と云へる者來り創始せるものにして今は九世雪堂に至る共に風流雅致なるを以て名あり其の他泉流焼小畑焼等あり。

南明寺 椿區の内南明寺山の山腹に在り萩市唯一の天台宗にして大同元年の創建なり國寶聖觀音、千手觀音の二体及大内家の明應、永正時代の制札を藏む眺望絶佳にして萩市を一時の裡に收め庭前に彼岸櫻あり南明寺の茶樓と稱して花時參拜者多し。

松陰神社 椿東區の内松本に在り維新革命の先覺者吉田松陰先生を祀る境内には先生が門弟と共に書を講じつ、踏まれたりと云ふ米倉又曰又松本村塾は先生の門弟等を教導せられたる塾舎にして其の當時の様を存す、又社屋の左側に松陰先生の遺物を藏めたる寶物庫あり其の他松陰先生幽因の宅址境内に在り。

花月樓 松本橋東詰に在り故品川子爵の別荘なり。

東光寺 椿東區の内松本に在り黃檗宗の禪林にして七堂伽藍悉く備はり壯麗の名刹なりしも今其の一部を残すのみ本寺は大照院と共に毛利氏累代の菩提所にして吉就公外四公の墓所並に元治甲子殉難士の墓碑あり。

反射爐 椿東區の内小畑に在り毛利氏軍艦建造の際に於ける器械を鑄造し又軍刀を製作せる鑄造工場の一部なり。

市制三周年 念萩史蹟産業大博覧會

會場	土原グラウンド	三十人以上	一割引
會期	昭和十年四月五日 四十一日間	五十人以上	二割引
會場	昭和十年四月十五日 四十一日間	百人以上	五割引
會場	昭和十年四月十五日 四十一日間	五十人以上	二割引

○防長勤王史料展覽會

會場	明倫小學校本館	三十人以上	一割引
會期	昭和十年四月五日 四十一日間	五十人以上	二割引
會場	昭和十年四月十五日 四十一日間	百人以上	五割引

○史蹟巡行貸切自動車

六人乗一臺(二時間以内)	賃金三圓(三時間以上)増賃金を要す
八人乗一臺(二時間以内)	賃金四圓(三時間以上)増賃金を要す
十人乗一臺(二時間以内)	賃金五圓(三時間以上)増賃金を要す

○史蹟巡行貸切自動車

六人乗一臺(二時間以内)	賃金三圓(三時間以上)増賃金を要す
八人乗一臺(二時間以内)	賃金四圓(三時間以上)増賃金を要す
十人乗一臺(二時間以内)	賃金五圓(三時間以上)増賃金を要す

○史蹟巡行貸切自動車

六人乗一臺(二時間以内)	賃金三圓(三時間以上)増賃金を要す
八人乗一臺(二時間以内)	賃金四圓(三時間以上)増賃金を要す
十人乗一臺(二時間以内)	賃金五圓(三時間以上)増賃金を要す

越ヶ濱 萩城の對岸笠山半島に連る漁浦にして南に夕風北に嫁泣の良港を控へ風光頗る愛すべし、其の西端に名越屋山あり形によりて笠山と稱する死火山にして頂上に噴火口を存す山中寒熱体の植物に富み展望亦開闊爽快なり、明神池は廣茅三千五百餘坪の鹹水池にして海魚群を爲す、元藩主遊樂の地にして所々に風穴あり四時遊覽者多し越ヶ濱に至る途中に海面の一部を劃したる人工水族館あり各種の魚介を飼養し釣魚遊覽に供す。

先賢名士の史蹟 ▲勤王家吉田松陰、高杉晋作、前田孫右衛門、入江九一、周布政之助、檜崎彌八郎、大和國之助、浦飯貞、寺島忠三、毛利登人、兵衛左馬之介、渡邊藏太、久坂義助、久坂玄機、竹内正兵衛、佐久間佐兵衛、國司信濃、福原元彌、益田右衛門介、清水清太郎、山田宇右衛門、山田亦介、廣澤兵助、杉山松介、來原良藏、松島剛藏、河上彌一郎、中村九郎、時山直八、冷泉五郎、櫻井三三、香川半助、木下孝久、伊藤博文、吉田稔、松浦松洞、長井雅義、藤村稻彦、藤村稻彦、福田快平、前原一誠、奥平謙輔、宮城彦輔、金子重輔、土屋矢之助、寺内暢藏、青木周助、青木研藏、近藤芳樹、中島治平、玉木文之進、杉民治、杉孫七郎、御堀耕助、鳥尾小彌太、榊原素彦、松本鼎、中村雪樹、山口素臣、岡市之助、岡澤精、有地品之允、林友幸、▲政治家益田元祥、榎本就時、毛利廣政、桂廣保、坂時存、村田清風、山田顯義、品川彌二郎、安戸磯、曾根荒助、野村靖、白根專一、青木周藏、桂太郎、三浦梧樓、柴田家門、山縣伊三郎、田中義一、▲學者山田原敏、小倉尙齋、山縣南南、和知東郷、瀧鶴合、林東溪、津田東陽、山根華陽、小倉鹿門、繁澤豊城、山根南、小田村藍田、中村華嶽、山縣大華、平田浩溪、中村牛莊、小倉通齋、飯田履軒、中村浩雲、岡本樞雲、岡田謙道、岡村箕雲、口羽通伯、▲書家 草場居敬、草場大麓、山縣墨偶、高島醉茗、▲畫家 雲谷等顔、雲谷等瑞、雲谷等、藤、佐々木緒江、山本鶴江、林百非、羽様西岸、森寛齋、高島北海、▲實業家 藤田三郎、賀田金三郎。

萩附近の名勝地 北に須佐灣東に長門峽南に秋芳湖西に青海島等の名勝地及天然記念物を存す何れも汽車又は自動車の便あり。

旅館の案内

市内の旅館は一等から三等までとし旅館組合で宿泊料も左の通り協定しあり	
一等	五圓
二等	四圓
三等	三圓
普通團體	二圓、一圓五十錢、一圓二十錢
學生	小學生 七十錢、中學生 六十錢、中食辦當付

自動車案内

定期乗合自動車 (間斷なく運轉各列車に接續)

イ、萩驛越ヶ濱線	六區一區五錢、三區三錢
ロ、玉江驛松本線	四區一區五錢、三區三錢

此の外四月には東田町、指月公園間に花見用、七八月には東田町菊ヶ濱間に海水浴場行臨時バス運轉す。

遊覽バス一人一巡賃金一圓以内 團體には割引あり

○史蹟巡行貸切自動車 六人乗一臺(二時間以内)賃金三圓(三時間以上)増賃金を要す

○史蹟巡行貸切自動車 八人乗一臺(二時間以内)賃金四圓(三時間以上)増賃金を要す

○史蹟巡行貸切自動車 十人乗一臺(二時間以内)賃金五圓(三時間以上)増賃金を要す

行程所要時間

▲山陽本線より萩市に來るもの ▲厚狹驛より萩驛まで二時二十二分間 ▲小郡驛より自動車にて萩市まで二時間(壹圓五拾錢) ▲山陰本線にて萩市に來るもの ▲下關驛より萩驛まで三時三十分間 ▲石見益田より萩驛まで一時三十分間 ▲山口驛萩市間(省營自動車)にて二時間(壹圓四拾錢) ▲長門峽を経て萩市に來るもの ▲長門峽湯ヶ原より長門峽自動車にて萩市まで二時間(壹圓五拾錢) ▲長門峽湯ヶ原より高瀬行自動車にて高瀬まで二十分間(五拾錢) ▲高瀬より川舟にて川上村後場まで一時間(舟一艘參圓) ▲高瀬より川舟にて萩市まで三時間半(舟一艘五圓) ▲筏場より自動車にて萩市まで二十分間(六拾錢) ▲萩市より秋芳湖及青海島に至るもの ▲萩市より自動車にて萩市まで一時二十分間(壹圓五拾錢) ▲萩市より汽車にて美禰線吉田驛まで一時五十八分間、吉田より自動車にて秋芳湖まで四十五分間(壹圓) ▲萩市にて仙崎町まで十分間(拾錢) ▲萩市内の史蹟を訪れる方は萩市役所(電話二三四番、一三五番、六九番)に其旨を申込まれたし。

秋の史蹟名勝と博覧會勤王史料展覧會場圖



市制三周年記念 秋の史蹟産業協力博覧會